

令和5年度学校評価書 山梨市立山梨小学校

- 1 学校教育目標
- 人間性豊かに 心身共に健康で たくましく学んでいく子供の育成
- 2 評価結果

2 評価結果

評価領域	評価項目	評価の観点	R4年度		R5年度			○考察 ●改善方策
			教職員	保護者	教職員	保護者	児童	
確かな学力の育成	基礎基本の定着	個に応じた指導を行い、学習内容の基礎・基本の定着に取り組んでいる。	3.6	3.4	3.7	3.4		○確かな学力の育成に向けて、個に応じた指導とICTの効果的な活用を意識しながら、計画的に学習を進めている。 ●家庭学習への取組については、校内研での研究を更に深め、保護者と連携しながらより良い取組方法等を考えていく必要がある。
	ICTを活用した授業改善	ICT機器を有効に活用し、わかりやすい授業づくりに取り組んでいる。	3.4	3.4	3.3	3.4		
	家庭学習の充実	「家庭学習の手引き」を活用し、家庭の協力を得ながら学習指導に当たっている。	3.2	3.3	3.2	3.3		
豊かな心の育成	道德教育の充実	道德の授業を中心に、自立心や規範意識を育む教育を行っている。	3.8	3.4	3.6	3.5		○どの学級も、誰もが居心地の良い学級を目指して学級づくりに取り組んでいる。また、学級力アンケートの結果も活用しながら、クラスの人間関係づくりを行っている。 ●今後も、学級だより等を利用して、道德の授業内容や児童の成長の様子を保護者へ知らせるようにする。
	仲間づくり・集団づくり	相手の気持ちを理解し、認め合い、協力しあう人間関係づくりを推進している。	3.8	3.4	3.9	3.5		
健やかな体の育成	体力づくり	児童の体力の実態に基づき、体力向上に関する指導を行っている。	3.4	3.5	3.4	3.5		○体育的行事は予定通り実施できた。基本的な生活習慣や衛生管理への意識も高い。 ●感染症対策については、コロナは5類に移行したが、家庭での取組も含め、今後も実施していく。朝の体育活動も、継続して進めていきたい。
	健康づくり	早寝・早起き・朝ご飯、手洗い・消毒等を習慣づけるよう取り組んでいる。	3.6	3.6	3.6	3.6		
将来活躍できる人材の育成	地域人材の活用	地域の文化財や人材等を活用し、地域の特色を生かした学習活動に取り組んでいる。	3.2	3.4	3.4	3.5		○どの学年も地域資源を学習活動に取り入れ、地域の方々との交流学习等を実施することができた。 ●地域の特色を生かした学習を更に推進していきたい。英語教育については、「進んで英語を使ったコミュニケーションのできる児童」の育成を目指し、今後も展開していきたい。
	英語教育の充実	市の英語教育に基づき、英語の基礎的な資質・能力を伸ばす活動を行っている。	3.6	3.4	3.6	3.4		
特別支援教育の推進	特別支援教育の充実	児童の個性や特性に配慮し、誰もが学びやすい環境や授業づくりに努めている。	3.6	3.3	3.6	3.4		○いじめの未然防止や早期発見、解決等に向けて、児童に定期的なアンケートを実施しながら、迅速かつ丁寧な対応を組織的に行っている。 ●学校での取組の様子を保護者に十分に理解してもらえるように、保護者と更なる連携を図りながら生徒指導を行っていきたい。
生徒指導	いじめ・不登校への対応	いじめの未然防止や早期発見、解決等、適切な生徒指導を行っている。	3.9	3.3	3.8	3.3		
家庭・地域との連携	開かれた学校づくり	地域や保護者との連携を図り、PTA活動や学校行事等の運営を行っている。	3.4	3.5	3.9	3.6		○運動会、交流持久走大会、有価物回収、登校指導等、PTA各専門部と連携しながら実施することができた。学校だより・学年だより等を通して、学校の様子を保護者と共有することができた。 ●今後も、学校、保護者、地域が一体となって教育活動を進めていきたい。また、学校運営協議会との更なる効果的な連携についても考えていきたい。
	情報の共有化	学校だより等を充実し、児童の様子や学校の方針が理解されるよう努めている。	3.8	3.6	3.8	3.8		
安全教育	安全・防災教育等の充実	定期的な訓練の実施等、緊急時の行動や交通安全、生活安全の教育を行っている。	3.9	3.6	3.9	3.7		○年に4回の避難訓練を実施している。地震や火災についての基本的な行動について、意識して行動できるようになっている。 ●「自分の命は自分で守る」を更に意識できるように、継続して取り組んでいきたい。水害の被害想定地区なので、今年度も垂直避難訓練を2月に実施する。
「やる気いっぱい 山小っ子」	何事にもねばり強く、最後までやり抜く子供	① 身近な人や家族に明るいあいさつができる。	3.4	3.3	3.3	3.3	3.5	○教職員と児童の評価は、どの項目も平均的に達成できている。保護者の評価では、手伝いの評価が特に低かった。 ●学校での係当番等の仕事だけでなく、家庭での仕事にも積極的に取り組めるように、学校と家庭との連携を密にしながら進めていくことが必要である。
		② 家事等、進んでお手伝いをする。	3.4	3.0	3.6	2.9	3.7	
		③ 仕事に責任を持って取り組むことができる。	3.4	3.3	3.4	3.2	3.6	
		④ 何事にも根気強く最後までやり抜くことができる。	3.4	3.0	3.3	3.1	3.4	
「学びいっぱい 山小っ子」	創意・工夫し、進んで学習に励む子供	① 積極的に自学（自主学習）に取り組んでいる。	3.0	2.8	2.9	2.9	3.0	○教職員、保護者、児童ともに、自主学習の評価が低かった。読書については、保護者の評価が低かった。 ●自主学習については、これまでも校内研の研究内容として取り組んでいるが、更に改善していけるよう、引き続き計画的かつ組織的に進めていく必要がある。児童の学習状況の的確な評価と、それを踏まえた授業改善を行い、個に応じた指導の充実等を図っていきたい。読書については、家庭でもより積極的に本に親しむことができるように、メディアコントロールの重要性と併せて、継続的に声かけをしていく必要がある。
		② 学校の授業を楽しみにしている。	3.3	3.1	3.5	3.3	3.4	
		③ 読書が好きである。	3.5	2.9	3.4	2.8	3.2	
		④ 学習の準備等が自分でできちんとできる。	3.3	3.3	3.1	3.1	3.5	
「なかよしいっぱい 山小っ子」	正しく判断し、心豊かで思いやりのある子供	① 学校や家庭でのきまりや約束を守ることができる。	3.6	3.4	3.3	3.5	3.4	○どの項目も達成できている。きまりを守ることや、相手の立場を考えた言動ができていると考えられる。 ●児童に道徳的な心情や態度を養うとともに、児童の自己肯定感を高めるように、今後も教育活動を進めていきたい。
		② 素直に感謝する気持ちを表すことができる。	3.6	3.4	3.6	3.5	3.8	
		③ 善悪のけじめがつけられ、正しいと思うことを実行できる。	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	
		④ 相手の気持ちや立場を考えることができる。	3.5	3.3	3.4	3.4	3.5	
「心身ともに元気な 山小っ子」	心身を鍛え、自他の生命を大切にする子供	① 運動に親しみ、進んで体を鍛えている。	3.5	3.3	3.7	3.3	3.4	○どの項目も達成できている。特に、命を大切にする項目において、保護者の評価が高かった。 ●コロナ禍において、学校での手指消毒等を継続して取り組んできた成果であるので、コロナは5類に移行したが、今後も続けていきたい。
		② 手洗い・うがい、病気の予防など健康に心がけている。	3.7	3.6	3.5	3.5	3.5	
		③ 交通安全や生活安全等、自分の命を守る行動ができる。	3.4	3.6	3.5	3.6	3.8	
		④ 命の尊さを理解し、生き物を大切にすることができる。	3.8	3.7	3.5	3.7	3.8	

3 学校関係者評価委員の評価

○：成果 ●：課題

◎確かな学力の育成について

- やはり求められるのは、第一に学力の定着・向上ですが、家庭・保護者にとっては我が子の様子しか分からないので、常にもう少し上を要求する傾向なので、努力している教職員の評価との差異があるのは仕方ないことと思います。工夫を求めたいのが、授業改善（ICT等）と家庭学習（宿題等）の取り組みが期待されます。
- 「～山小っ子」の欄に、根気強く積極的に進んで学習する傾向に弱い、田舎ののんびりした地域の子どもの特性に応じた、やる気、意欲を引き出す工夫の取り組みを願いたい。児童の評価でも最も低い3.0が自主学習であった。

◎豊かな心の育成について

- 運動会とふれあい祭りを参観させていただきました。運動会での子どもたちの競技や演技を頑張る姿、一生懸命応援する姿、児童会役員を中心に6年生がリーダーとして下級生を引っ張っていく姿、準備や片付けを協力してテキパキ動く姿、涙あり、笑顔あり、素晴らしい運動会でした。保護者も子どもたちから感動や元気をもらったと思います。ふれあい祭りも、ろう学校の子どもたちとも交流を深め、上級生を中心に主体的に考え、工夫し、店に来て楽しんでもらったり、店に行って楽しんだり、たくさんの笑顔を見ることができました。仲間づくり、集団づくりにつながる行事です。山梨小学校の素晴らしい伝統ですね。

◎生徒指導について

- いじめと同様、不登校対応についても外部機関とも連携しながら組織的に取り組んでほしいです。
- いじめ、不登校への対応に、保護者の評価が少し心配で、学校内での高いアンテナに配慮する必要があるだろう。
- 「命」という観点から「言霊」の意味。安易に使ってしまう「死ぬ」という言葉の乱用を、子どもたちに考えてもらいたい。

◎家庭・地域との連携について

- 学校だよりで、学校の方針、子どもたちの頑張る様子、地域や外部との連携した取り組み、家庭への協力をお願い等がわかりやすく書かれていて、情報が共有されていました。
- 学校だよりを、さらに地域の方々にも情報を共有するために、中学校と同様に地域に観覧してみてもどうかと思います。

◎安全教育について

- 能登半島地震を受け、山梨地区も他人事ではなく、安全教育の充実に感謝し、より一層の訓練をお願いしたい。

◎めざす子供像「や・ま・な・し」について

- 関心のあった児童自身の自己評価が思った以上に高評価（学習と読書を除き）で肯定感があるのは素晴らしい。
- 行事を見せていただいた際には、子どもたちの活発な活動だけでなく、かばい合ったり、励まし合ったりする姿が見られて、心温まるもので、「なかよしいっぱい」であった。
- 家庭内でのあいさつは不明だが、地域における児童のあいさつは良好と思う。
- 「交通安全や生活安全等、自分の命を守る行動ができる」について、保護者も児童も評価が高いので、意識も高くてもよいと思います。
- 自転車のヘルメット着用はどれくらいしているのかわかりませんが、引き続きご指導よろしくをお願いします。
- 読書をはじめとする自発的な活動も、難しい重要課題と思われる。
- 読書と自主学習の評価が相対的に低い、受身で見られるＴＶに加えて魅力的で強力なネットメディアが身近なものになる中で、能動的に動かないと実現しない読書などは、意志の力が働かないと実現しない。何かのきっかけをつくって興味をもたせるとよいかもしれない。クラス対抗の貸出冊数比べとか、図書室に関わるクイズ（本のリストから著者名をさがす時間を競うなど（グループ対抗））のようなことはどうだろうか。

◎全体を通して

- 全体を通して総括すると、保護者、教職員、児童から、良好な評価を得て適切な学校運営が実施されていると判断しています。
- 評価結果をみていくと、教職員、保護者、児童ともにどの項目も評価が高いです。学校力や保護者の学校への信頼が高いと思います。
- 各項目の成果に頑張りが見受けられること、「考察」及び「改善方策」により、更なる向上が期待されることから大変評価できる。
- 山小っ子が「人間性豊かに心身共に健康でたくましく」育っていった欲しいと期待します。
- 今後とも、人間性の育成、心の教育を大切にして、豊かな学校を維持・推進していったください。
- 日頃より、コロナ、ＩＣＴ、働き方改革等、様々な変化の中での子どもたちのご指導ありがとうございます。子どもたちの未来の土台をつくる先生方、お体に気をつけてご指導よろしくお願いいたします。